

寺町分会紹介



寺町分会は平成23年の分会再編で、古千谷分会と東伊興分会が合併してできた分会で、組織数は概ね330人をキープしています。分会名の由来は、東伊興周辺に寺院が密集した地域（クネクネした道沿い）があり、そこが寺町と呼ばれていることからきています。この寺院の多くは元来、浅草本所地区にありましたが、関東大震災の罹災後に移転しており、由緒あり著名人の墓も多くあるのが特徴です。他にも伊興遺跡や氷川神社、見沼代親水公園があり、歴史と憩いのある地域と言えます。地理的には、北は毛長川、東は東武スカイツリーライン、西は舎人ライナー、南は竹ノ塚駅周辺までといった場所に足を伸ばすような形になっています。

寺町分会



拡大行動